

# 台湾JIP報告書

研修生：金田 英里、小村 志保美、林 淑美

研修先：国立屏東商業技術学院（台湾）

期間：2014年3月3日～3月28日

（小村は卒業式出席のため17日まで）

実習時間：6～14コマ（1コマ＝50分）

見学時間：70～80コマ

費用：5万円程度（生活費、旅行費、お土産代等）

※ 航空費、保険料、国内の交通費約11万円は国際交流基金から助成金が下りた。宿泊は受け入れ先から女子寮が無料で提供された。



## 研修先

国立屏東商業技術学院は台湾南部の屏東県にあり、高雄小港国際空港からはタクシーで1時間程度、鉄道の最寄り駅である屏東駅からはタクシーで10分程度の位置にある。宿泊した女子寮はキャンパス内にあり、応用日本語学科のオフィスや教室には、歩いて5分ほどで行くことができる。

応用日本語学科は教師数11名、学生数220名である。金田と小村は3年生、林は1年生を担当した。

## 研修の流れ

研修開始前日の3月2日に関西国際空港から高雄小港国際空港へ出発した。飛行時間は約4時間である。到着後は受け入れ先の学校のスタッフの出迎えがあり、1時間後に到着した麗澤大学の実習生と共にタクシーで学校へ移動した。

第一週目はオリエンテーション、台湾の日本語教育事情の講義があったほかは、それぞれの実習担当のクラスを見学したり、TAとしてクラス活動の手伝いをしたりした。3年生のクラスでは一週目から実習が行われた（金田、小村）。担当クラス以外にも、空き時間を利用して他学年のクラスを見学することも可能である。水曜日の夜には学生主催の実習生歓迎会が行われた。金曜日は基本的に学内での見学はなく、学外の施設見学に行った。第一週目は屏東女子高級中学の日本語の授業を見学しに行った。週末はそれぞれ自由に過ごした。

第二週目も第一週目同様、それぞれの担当クラスを見学した。先に帰国する小村のみ、この週も実習を行った。水曜日には応用日本語学科のアフレココン

テストが開かれた。実習生も審査員、観覧者として参加した。金曜日には日本語教育が行われている千葉幼稚園の見学に行った。

第三週目は1年生、3年生のクラスでそれぞれ実習が行われた（金田、林）。月曜日には高雄市立空中大学（放送大学）の日本語クラスを見学した。金曜日には竹田駅（池上文庫併設）、二峰ダムの見学に行った。

第四週目（最終週）は、学生からの要望があり、3年生のクラスで関西弁の特別授業を行った（金田）。1年生のクラスは見学のみとなったが、希望すればもう一度実習ができた。木曜日の夜に学生主催の実習生送別会が行われた。金曜日は自由に過ごし、土曜日の朝、寮からタクシーで屏東駅へ行き、鉄道で左営駅まで行って新幹線に乗り換え、桃園駅からシャトルバスで桃園国際空港へ移動し、関西国際空港への帰路についた。

## 実習クラス

実習が行われたクラスは以下のとおりである。

- 1年生
  - ・ 日語（文法）
  - ・ 日語会話
- 3年生
  - ・ 高級日語会話
  - ・ 日語写作（作文）



## 見学クラス

上記の実習クラスに加えて以下のクラスを見学した。

- 2年生
  - ・ 進階日語（文法）
  - ・ 進階日語会話
- 3年生
  - ・ 日本現勢（日本事情）
  - ・ 日語交渉談判実務（ディベート）



## 学外の見学

### \*屏東女子高級中学

日本語を学習し始めて半年のクラス。特別な教科書を使用（『みんなの日本語』第3課程度）。学習者のレベルに差があったが問題を見て回るとき中国語が話せず、文法説明に苦労した。



### \*千葉幼稚園見学

中国語母語話者の子供が通っている幼稚園を見学。午前中は日本語、午後は英語を使い分けて学んでいる。言語だけでなく、和食器や和の生活用品を使って日本の文化も教わっている。



### \*高雄市立空中大学

日本語クラスを見学した。18歳以上であれば何歳でも学習できる大学なので、70～80代の学生もいた。みなさん日本語が上手で、話したくて仕方がないようだった。年齢が高く一番前の席で学ぼうとする姿は日本でも見られ、万国共通な姿だと感じた。自己紹介で社会経験を経てから学び直したことを話すと喜んでくれた。

### \*竹田駅と二峰ダム

日本統治時代から残っている施設である竹田駅と二峰ダムを見学した。竹田駅には日本語の図書が多く蔵書されている池上文庫が併設されている。当初、ダムの内部も見学予定であったが、悪天候のため中止され、外観と原寸大模型の見学のみとなった。



## 生活

### \*寮

実習中は大学の女子寮に滞在し、4人1部屋で、実習生はそれぞれルームメイト3名と生活を共にした。ルームメイトは日本語学科の学生とは限らず、日本語、中国語、英語を使って会話した。学生たちと衣食住を共にすると、より深く学生たちを知ることができ有意義な実習となった。自分のために持っていった駄菓子がルームメイトとのコミュニケーションにも役に立った。



### \*食事

食事は主に正門前にある飲食街で水餃子や麺類を食べた。一食が大体50~100元(150~300円)位と安かったため、一日150~300元、一週間だと1050~2100元だった。



### \*自由時間

週末は学生たちと台南や高雄へ日帰り旅行を楽しんだ。博物館や観光地で通訳をしてくれ、多くの台湾の文化を教えてもらった。(鉄道運賃：台南まで約100元、高雄まで31元)

## 参考

- ・ ダムの見学に行くときのために、濡れてもよい靴を用意するとよい。
- ・ 担当の先生にお土産を持っていったが、受け取れないとおっしゃる先生もいらっしゃり、これからは個人の先生へのお土産は無しにし、日本語学科のオフィスで分けられるお菓子だけを持っていくことになった。